

明るい未来社会を創る「名大からの人」育成プロジェクト Super Degree Programs (SDPs)



法学研究科

経済学研究科

工学研究科

SDPsで育成する人財

人類が地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき17の目標としてSDGsがあります。その先に行く未来を考えた時、例えばエネルギー問題であれば、単に工学的な技術開発だけでなく環境学・経済学・法学・社会学・哲学など様々な学術分野を取り込んで問題解決を図る必要があります。そこでSDPsでは、2030年目標であるSDGsの視点を踏まえつつ、2050年のエネルギー・社会問題を見通せる眼力と問題抽出・解決能力の基礎スキルを備えた人財を育成します。

- 2050年の来たる社会に想定される様々な問題を認識し、解決に向けて挑戦を開始する
- 2050年に産・学・官・金・政・市民（例：NPO）で、中心的存在（50歳前後）になる

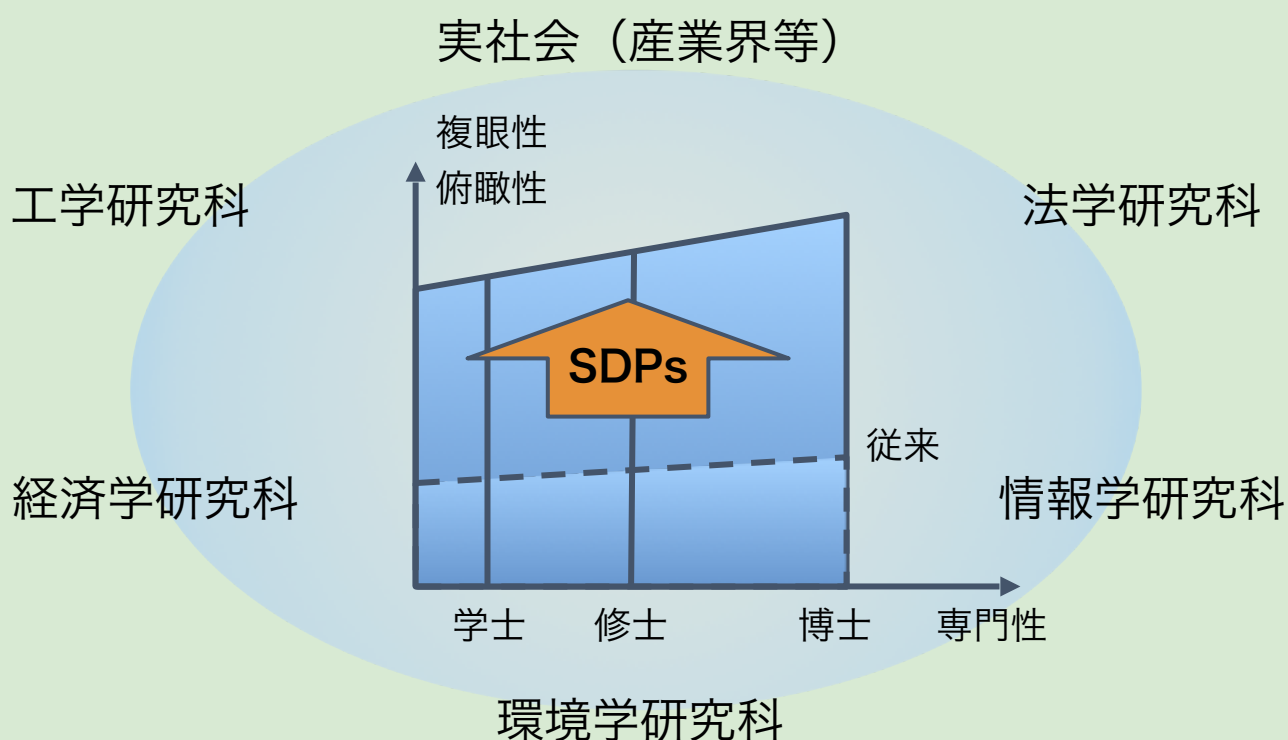


👉 これまでにない画期的な人財育成

- 部局連携で対応：ゼミ単位互換
- 部局横断・産業界からのメンター制

👉 産業界・政府機関・自治体・起業家・法曹界に望まれる人財の輩出

- 学部・大学院インターンシップ・社会人リカレント教育
- 総合大学としての強みを活かし、他部局異分野間での教育連携を通して、高度専門人・研究者の養成を行う。



出願資格

学 部：法学部、経済学部に所属する4年生

大学院：工学研究科、法学研究科、経済学研究科の博士前期
・後期課程に所属する学生

修了要件

SDPs導入科目

学 部：実学概論基礎（社会科学系専門科目）2単位

大学院：エネルギー実学概論（工学研究科専門科目）2単位

Super Doctor Program

👉 上記専門科目2単位のほか、他研究科のゼミ4期8単位（半期毎に進捗報告会）の計10単位以上（必要に応じてゼミに関係する大学院・学部専門科目を取得する指示がある）

👉 最終審査により、他研究科の修士号相当の修了証書を授与

Super Master Program

👉 上記専門科目2単位のほか、他研究科のゼミ2期4単位（半期毎に進捗報告会）の計6単位以上（必要に応じてゼミに関係する学部専門科目を取得する指示がある）

👉 最終審査により、他学部の学士号相当の修了証書を授与

エネルギー実学概論・実学概論基礎

少資源国の我が国にとって、エネルギー問題は社会全体に関わる最重要課題の1つであり、環境学・経済学・法学・社会学・哲学など様々な学術分野が大きく関わっている。本講義では、様々な分野において第一線で活躍されている学内・学外講師による多様な講義とグループワークを通じて、俯瞰的・複眼的な知識を得ると同時に、2050年のエネルギー・社会問題を見通せる眼力と問題抽出・解決能力の基礎スキルを獲得することを目的とする。

様々な分野の第一線で活躍する多彩な学内・学外講師陣



浦田 真由

情報学研究科・准教授
「ICTを活用した
社会システムデザイン」



下山 憲治

一橋大学法学研究科・教授
「エネルギー問題と法的制御
ー原子力エネルギーを
中心にー」



大橋 誠

元三井物産戦略研究所シニア
フェロー（三井物産出向）
「エネルギー地政学と
技術イノベーション」



谷口 恭彦

米国日立ヘルスケア・元CEO
（現富士フイルムヘルスケア
Special Appointive Officer）
「ヘルスケアという社会課題」



丸山 康司

環境学研究科・教授
「再生可能エネルギーの
社会的受容性」

SDPs修了後のイメージ

法学生

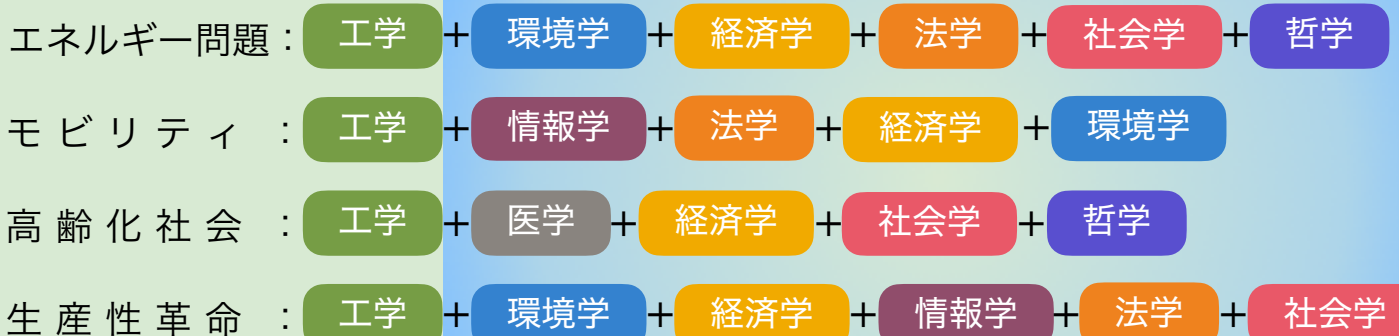
- ▶ 法の体系的知識（憲法、行政法、民法、刑事法、社会法、基礎法）と科学技術に対する正確な理解を併せ持つ人
- ▶ テクノロジーに強い法曹・法実務人
- ▶ 科学技術イノベーションを市民社会に適応させる人

経済学生

- ▶ 統計学的な知識に加え、機械学習、AIといったデータ分析技術を身につけ、ビッグデータを活用して経済・経営に関する社会的課題に取り組む人
- ▶ ものづくりのプロセスや技術などの工学的知識を身につけ、この知識をグローバルな環境で組織運営力の向上に生かすことができる人

工学生

- ▶ 工学だけではカバーできない重要な複眼的考えを身につけ、例えば、以下に示す諸問題と諸分野に取り組むことができる人



職業人のイメージ

多彩な専門人、起業家、公務員、弁理士、税理士など

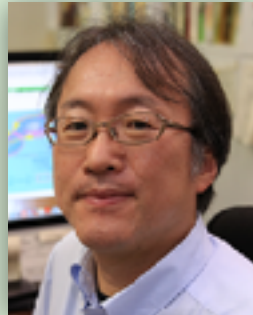
SDPsサポート教員



佐野良雄
(経済学研究科 客員教授,
三井物産 出身)



増田 知子
(法学研究科 教授)



尾上 順
(工学研究科 教授)



園田 正
(経済学研究科 教授)



谷口 恭彦
(米国日立ヘルスケア 元CEO,
富士フイルムヘルスケア,
工学研究科 招聘教員)



水谷法美
(工学研究科 教授)



山田智明
(工学研究科 教授)



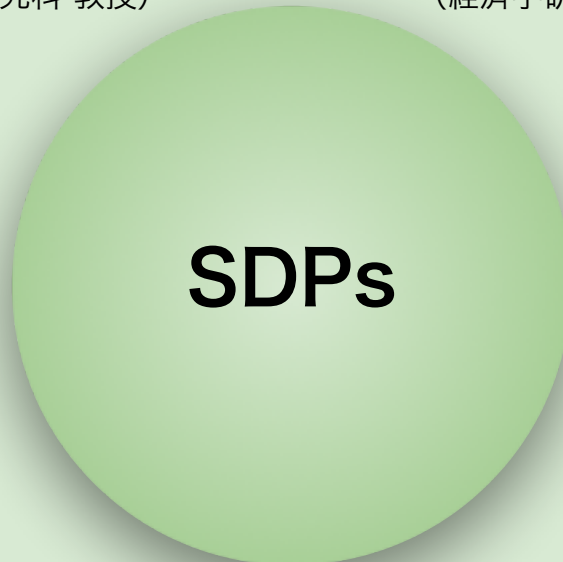
瓜谷 章
(工学研究科 教授)



高見誠一
(工学研究科 教授)



西澤泰彦
(環境学研究科 教授)



学生の皆さんへ

2050年の未来（皆さんは50歳台）は今とは違った様々な国際的・社会的問題が起こっていることと思います。本プログラムは、法学・経済学・工学・環境学・情報学など超学際的な視座に立って、来る2050年に起こり得る社会問題を抽出し、それを解決するための方策を提案できる専門性と複眼・俯瞰性を身に付け、2050年の未来社会でリーダーシップを発揮している人材を輩出することを目的に、部局横断かつ産業界とタッグを組んで、皆さんを「名大からの人」になってもらえるようサポートするプログラムです。

是非、高い志を持って、我々と一緒に明るい未来社会を考えていきましょう！

Super Degree Programs (SDPs)運営委員会

お問合せ

工学研究科 教授 尾上 順

j-onoe@energy.nagoya-u.ac.jp